琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）53

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2019-02-14
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: -
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851

池田總理、ライシャワー大使（昭三九、七、七）

南方班ファイル

極秘

大臣 3

大臣秘書官　　アジア局長　　アメリカ局長
事務次官　　総務参事官　　参事官
外務審議官　　南東アジア課長（コピー）　　北米課長

池田総理 ライシャワー大使 会談要旨

（昭39.7.7
米北 有馬）

ライシャワー大使は、7月7日2時ザヘーレン参事官を同伴、池田総理に表敬、帰任の挨拶を行なうとともに約15分にわたり会談した。その要旨大凡次のとおり。

（同席者：黒金官房長官、黒田秘書官。）

ライシャワー大使：色々御迷惑をおかけし、又総理夫人はじめ皆様からは御見舞をいただき家内も自分も心から感謝している。

総理：なんとお詫びを申しあげて良いか判らない。自分は事件の直後テレスターを通じアメリカ国民の方々に対しお詫びはしたが、こういうことは言葉に盡せるものではない。

（全身のギブスを指して）全治にはどの位いかかるか。

大使：神経がやられているので足の機能が元に戻るのには一年位いかかるといはれている。

（以上日本語）

昨日大平大臣にお会いした時にも申しあげたことであるが、ジョンソン大統領は自由主義諸国が何らかの形で南ベトナム人と南ベトナムにおける米国の努力に対し支持を与えることを強く希望している。

自分は昨日ジョンソン大統領から日本政府にその旨（強く）要請するようにとのpersonal messageを受けとった。

援助の額より、スピードとタイミングが問題であり、可能であるならば、なるべく早い機会にgestureを示していただきたい。

特に米国としては日本人が医療班をといった形式をとって現地に赴かれることを強く希望している次第である。

総理：大使のいわれた問題については自分も勉強している。台湾は50万ドル拠出する由であり、英、西独、濠洲も援助計画を具体化していると承知している。ベルギー、オランダはまだなにもはじめていないと聞いている。

日本政府としては、援助内容の細目をまだはっきり決めていないが、医薬品とラジオを10万台（現在手持ちは約1万台）等金額にして約200万ドルの援助を行なうつもりであるが、現在大蔵省と折衝中である。

日本人が医療班といった形で現地に赴くことは困難である。援助は品物でやった方がいい。

自分としてはラジオ10万台はすこし多過ぎると考えている。

いずれにせよ、（援助の中味を急いできめて）早速実行に移すつもりである。

南ベトナムについては、日本政府は、米側の要望に応えたわけであるが、沖縄問題については当方の希望を聞いていただきたい。

若し現在国会が開催されていれば、沖縄問題は大変なことになると思う。議員は沖縄問題を実に良く調べており事情に精通している。キャラウェー高等弁務官が更迭されたが、ここで問題を解決しなければ沖縄住民が騒ぎ出すことになり、そうすれば大変なことになる。

最近の米国の沖縄政策は、自分がケネディー大統領と合意した線より逆行しているとはいわないまでも進展ぶりがあまりに遅い。沖縄の施政に軍人をあてるのはどうかと思う。

キャラウェー前高等弁務官は東京通過の際自分に会見を求めることすらしなかったが、

これは極めて非常識なことである。沖縄の高等弁務官が日本の総理に挨拶する位いのことはあたりまえである。この事実にもキャラウェーの沖縄施政の態度が表われている。

大使：この問題は自分も深く憂慮しているところであり、キャラウェーの更迭は、かなり前より承知していた。幸い後継者は有能かつ優秀な人物であるから、情勢は好転するであろうとの希望を抱いている。

ここではっきりさせておきたいことは米国政府の対沖縄政策は池田ケネディ間に合意された線に沿うものであり、その進展が遅々としていることは極めて遺憾であるが、今後は事態は好転するであろう。

総理：今后は大使が高等弁務官とよく連絡をとり、米国政府の対沖縄政策の真意がはっきり表われるように努力されたい。

大使：新高等弁務官は7月下旬来日の予定であるが、総理に時間があればお会いいただきたい。

総理：（南方問題については）日本政府としてできることは行なう所存であるから、沖縄はよろしく頼む。

先に福田防衛庁長官が訪米した際マクナマラ国防長官に直接沖縄問題を提起せしめた。

東洋人、日本人の気持を理解しなければ沖縄の施政はできない。

大使：自分はハワイで日本の新聞を読んで

いたが、沖縄問題には心を痛めた。

しかし、現在日米間には沖縄以外特に困難な問題がないことは喜ばしい。

昨日大平大臣から台湾訪問のことを伺ったが、日中関係の好転は極めて喜ばしい。

総理：誤解が徐々に解けていることはたしかである。雨降って地固まるというが一連の問題があったので反って事態は好転した。張群が来日するかもしれない。

（なお、大使は今後2ヶ月程健康に注意するつもりでありsocial functionは遠慮させてもらうつもりであるとのべていた。）

㊢ 極秘

米北第789号
昭和39年7月17日

総理府特別地域連絡局長　殿

外務省アメリカ局長

米国の沖縄政策に関する池田総理
ライシャワー大使会談要旨について

さる7日ライシャワー大使が帰任挨拶のため池田総理を訪問した際沖縄問題に関し概要下記のとおりの会談が行なわれたので御知らせする。

なおこの会談内容の取り扱いはとくに慎重にお願いしたい。

記

総理　沖縄問題については、米側が当方の希望を容れるよう努力されたい。沖縄政情不安の現在国会が開かれていれば沖縄問題は大へんなこと

になつたと思う。議員は沖縄問題を実に詳しく調べており、事情に精通している。キャラウエイ高等弁務官が更迭されたが、この機会に問題が解決しなければ、沖縄住民が騒ぎ出し大へんなことになるだろう。加うるに、最近の米国の沖縄政策は自分がケネディー大統領と合意した線より逆行しているとはいわないまでも進展ぶりがあまりに遅い。

この点沖縄の施政に軍人をあてるのはどうかと思う。キャラウエイ前高等弁務官は東京通過の際、自分に会見を求めることすらしなかつた。沖縄の高等弁務官が日本の総理に挨拶する位のことはあたりまえであるが、この事実にもキャラウエイの沖縄施政の態度が表われている。

大使　この問題は、自分も深く憂慮している。キャラウエイの更迭はかなり前に分つていたことであるが、幸い、後継者は有能かつ優秀な人物であるから情勢は好転するであろうと

の希望を抱いている。

なお、米国政府の対沖縄政策はあくまで、貴総理、ケネディー大統領の合意の線に沿うものであるが、その進展が遅れていることは誠に遺憾である。

総理　今後は、大使が高等弁務官とよく連絡をとり、米国政府の対沖縄政策の真意がはっきりと表われるよう努力されたい。

大使　新高等弁務官は7月下旬来日の予定であるが、総理に時間があればお会いいただきたい。

総理　さきに、福田防衛庁長官が訪米したとき、マクナマラ国防長官に直接、沖縄問題を提起せしめたが、とにかく、東洋人、日本人の気持を理解しなければ、沖縄の施政はできないと思う。

大使　自分は、ハワイで、日本の新聞を読んでいたが、沖縄問題には、心を痛めた。しかし現在、日米間には沖縄以外、特に困難な問題がないことは喜ばしい。